

市議会報

第5号 2010年7月発行
市議会だより編集委員会

夕張再生に向け、市議会として国会議員や関係団体に要請活動を行ってきました

財政再建団体になって以降、本市を取り巻く状況は市民の皆さんも、ご承知の通りです。特に本年からは新たな法の下、財政再生計画として17年間という長い険しい道程として、市民の皆さんのご理解ご協力を受けながら夕張再生に向け、取り組んでいかなければならないものと考えています。夕張市議会としても、その責任の重さを常に痛感しており、また、今後の再生に向

けた取り組みを具体化させていくためにも、この度、市議会の単独行動としては財政再建団体入り以降、初めて中央陳情・要請活動を実施してきたところですので。合わせて日頃から、ふるさと夕張のためにご尽力いただいている夕張会を中心とした役員の皆様とも本市を取り巻く状況や今後のご協力要請等の意見交換の場も設けさせていただきました。

今回の陳情・要望活動をさらに具体化、発展させるために、現在、市議会においても研究会の場面を活用し、今後取り組み状況等と協議し進めているところです。なお、今回の陳情要請活動の日程、概要は表の通りです。

25日	民主党 小平忠正議員	今回の要請行動の趣旨を説明。小平議員に面談後、急遽本会議が開催されるとのことで、他の民主党議員に面談はできなかった。
	自民党 木村太郎議員	「先日、ふるさと対話集会で夕張市を訪れた関係もあり、前向きに今回の要請を応援させていただきます。具体的には質問主意書で各省庁へ働きかけをさせていただきます。」とのことであつた。すでに質問主意書は提出され、答弁書も出されている。
	自民党 森喜朗議員 (秘書対応)	先日の、ふるさと対話集会で夕張に来た際のお礼と要請書を提出。森代議士にしっかり伝えておきますとのこと。
26日	夕張メロンクラブ 佐賀滋昭会長 東京夕張会 森島るり子副会長	夕張の現状を踏まえ、今回の要請行動の趣旨を説明。特に学校跡地の活用策等について各企業等にも紹介をいただきたい旨依頼した。またふるさと納税等、今後総会などの中で呼びかけていただきたい旨をお願いした。
	公明党 稲津久議員	空知出身ということもあり、夕張問題は常に気にかけて取り組んでいるとのこと。今回要請した「住宅問題」「空き校舎等の遊休施設問題」「情報通信網の整備」についてそれぞれ助言をいただいた。

27日	自民党 加藤紘一議員	要請事項に関しては、道が支援する体制にあるのかどうか、また具体案があつたほうが国の補助制度を簡便な方法にすることなどできるなどの助言をいただいた。小平議員が窓口と思うが応援するとして担当秘書を指定し連絡してもらえれば随時対応させるとのこと。
	自民党 伊藤良幸議員	要請行動の趣旨、内容を説明。道議、釧路市長時代から夕張市のことは理解しているとのこと。
	自民党 大島理森議員	「今回要請に来ていただいたことは、政調会長や総裁にしっかりと伝えておきます。」とのこと。

4月・5月・6月の 議会行事報告

4月	5日	議会だより編集委員会
	9日	北海道市議会議長会道央支部協議会
	16日	議会だより編集委員会
	17日	原口総務大臣が来夕したので議長が挨拶を行った
	21日	行政常任委員会
	22日	平成22年度北海道市議会議長会定期総会
	28日	議会だより編集委員会
5月	10日	議会だより編集委員会
	19日	行政常任委員会 議会運営委員会
	24日	第2回臨時市議会
	25日	道内選出国會議員等に対する
	~27日	中央要請行動
	26日	全国市議会議長会第86回定期総会
	27日	全国市議会議長会主催による天皇陛下拝謁式
6月	8日	行政常任委員会
	11日	議会運営委員会
	17日	第2回定例市議会初日
	18日	第2回定例市議会第2日
	24日	議会運営委員会 第2回定例市議会最終日

4月21日 行政常任委員会報告事項

●福祉課

◎平成22年度夕張市立診療所等指定管理業務の運営体制及び夕張市立診療所等管理業務協定書の改定について

■協定書改定の趣旨

指定管理業務の実施に当たっては、協定書において市の保健医療施策に資する管理運営を行うことを明確にし、光熱水費と病床維持に係る市の負担と合わせて協定書を改定する。

○改定箇所

第17条 乙は、施設の光熱水費を含む管理運営に関する費用を診療報酬等及び施設の運営に伴うその他の収入をもって賄うものとする。ただし、甲は、現施設の老朽化に起因する光熱水費の増嵩経費（別に定める平均

的な光熱水費を超える額）及び病床維持要する一定の経費（別に定める有床診療所病床に係るものとして地方交付税に算入された額に相当する額）を負担することができるものとする。

○22年度病床維持に対する負担額 152万7千円×19床＝2901万3千円

○施設の老朽化に起因する光熱水費分 平成21年度は、1211万4千円を負担。

（甲→夕張市、乙→夕張希望の杜）

夕張希望の杜・医師会・医療機関に対する予算執行状況（単位千円）

負担事項	19年度	20年度	21年度	22年度	合計
立ち上げりに要した施設改修費		7,000			7,000
光熱水費削減工事（市実施分）	1,300	2,700			4,000
光熱水費負担金		19,436	12,114	6,610	38,160
病床維持負担金				29,013	29,013
休日・夜間救急医療体制補助金（医師会）			1,052	1,052（見込み）	2,104
初期救急医療体制整備負担（医療機関）				3,360（見込み）	3,360
合計	1,300	29,136	13,166	40,035	83,637

6月8日 行政常任委員会報告事項

●教育課

◎夕張市立清水沢小学校大規模改修工事について（単位 円）

工事名	落札業者	予算額	落札額	工期
大規模改修工事	ピーエス三菱・丸七氏家 經常建設共同企業体	547,500,000	244,996,500	22.6.1～ 23.3.25
電気設備工事	末廣屋・大晃・夕電・駒井 經常建設共同企業体		54,600,000	
暖房衛生設備工事	日管・北宝・泉 經常建設共同企業体		92,190,000	
改修（外構）工事	北宝・石川・丸友坂本 經常建設共同企業体		64,375,500	
大規模改修工事 監理業務	（株）創建社	8,800,000	7,770,000	22.6.1～ 23.3.30
合計		556,300,000	463,932,000	

●福祉課

◎心肺停止患者に対する市立診療所の対応について

※市長から、この件における問題及び今後の取り組みについて発言があった。（以下発言の要約）

（1）市民の安全安心が保てない大変に重要な問題である。

（2）昨年9月の事件後に基本的なルール（心肺停止患者は直近の医療機関の医師が対応する）が守られず、市民に不信感をあたえる結果となり残念である。

（3）市として救急についての考え方は、24時間の救急指定病院の対応を求めている。

（4）これまで同様に手術や検査を必要としない初期救急患者の可能な限りの受入れと、直近にある場合の心肺停止患者は対応していただけるよう協議する。

■質問 心肺停止患者に対しては直近の医師が対応するという基本的なルールが守られていないが理由はあるのか。

■答弁 これまでの対策としては、直接に医師と救急隊（消防）と連絡ができるよう携帯電話の番号確認をしてホットラインの確保をした。

■質問 心肺停止患者への対応について市立診療所の考え方と市の基本的対応の考え方にズレがあるのではないのか。

■答弁 昨年9月の事件以降に、心肺停止患者は一刻を争うものであると直近の医療機関が受入れべきと村上理事長は言っておりましたが、今回は設備や人手のない診療所では対応すべきでないとの考え方を示されました。

■質問 かなり見解が変わったが、今後心肺停止患者はどのような対応を市立診療所に求めていくのか。

■答弁 市の基本的な考え方にそって心肺停止患者に対応していただけるように協議してまいります。